

新井もりお 市政報告

ARAI MORIO
A MUNICIPAL REPORT



egao iwatsuki

さいたま市議会 2月定例会は、専決処分報告議案 1件を含む予算議案、条例議案、一般議案、道路議案、人事議案など追加議案を含め 104 件の提出議案が議決され、3月 12 日に閉会、令和 7 年度の幕を閉じました。その内容は 令和 8 年度の予算審議が中心で、一般会計、全会計予算総額ともに過去最大の予算規模となりました。今回はシンカし続けるまちへ。暮らしを高め、共創で希望を拓く予算」と銘打ち『誕生 25 周年を迎える本市が、市民の暮らしをこれまで以上に支え、高めていくと共に、行政と市民、事業者が更に絆を強め、叡智を結集して様々な課題に対応し、本市をより一層シンカさせていくため、新時代に向けた挑戦を具体化する予算』の概要と 12 月の一般質問の一部を中心にお伝え致します。

私たちのまち、さいたま市・岩槻区に関するご意見ご要望がございましたら、新井もりお事務所へお寄せください。



新井もりお事務所 発行

市民相談窓口 [市民の声]

要電話予約 受付時間 (月火木金)

10:00 ~ 12:00 14:00 ~ 16:00

さいたま市岩槻区大字徳力 86 番地 201 号

TEL 048-812-7218 FAX 048-812-7219

Email ; morimori-morimori@rose.plala.or.jp



<令和 8 年度予算案 4 本の柱>

1. 災害に強く安全・安心な都市への対策強化

激甚化・頻発化する自然災害へのハード・ソフト一体となった防災・減災対策の強化により災害に強いまちづくりを実現するとともに、地域の自主防犯活動の支援等により犯罪や事故が起こりにくいまちづくりを推進することで、市民の安全・安心を確保する取り組みを進めます。

自主防災組織の育成支援及び防災アドバイザーの活用、など

2. 未来のまちを拓くさいたまらしさの深化

本市の更なる発展に向けて、未来に向けた都市基盤整備をはじめ、「ゼロカーボンシティ」の実現や文化芸術・スポーツの振興、産業発展に向けた事業を推進することで、これまで培ってきた強みを更に強化し、魅力を深める取り組みを進めます。

地下鉄 7 号線延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進、など

3. 誰一人取り残さない地域共生社会の実現

社会情勢が大きく変化し続ける中、本市に住む誰もが未来に希望を描けるよう、「誰一人取り残さない」という理念の下で、誰もが安心して暮らすことのできる地域共生社会の実現に向けた取り組みを進めます。

子育て世帯への負担軽減事業の実施と子育て支援医療費の助成、など

4. DX と共創によるまちづくりの推進

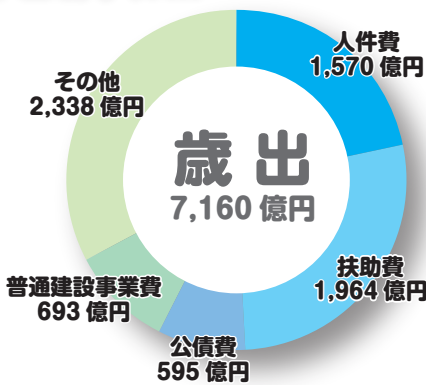
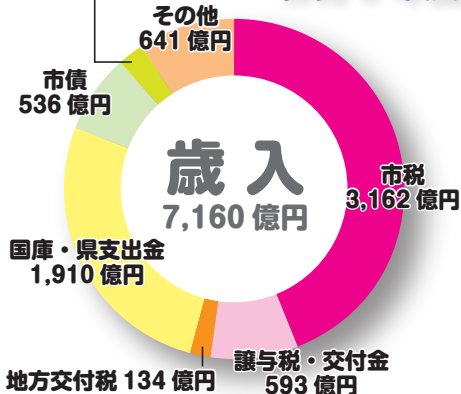
DX の推進と行政、市民、事業者等が連携・協働し、新たな価値や仕組みを創り出す「共創」により、地域の活力と絆を更に高め、暮らしやすく活気のあるまちづくりを推進します。

スマートシティの実現に向けた取り組みの推進など

<令和 8 年度当初予算>

財政調整基金繰入金
185 億円

令和 8 年度 当初予算案



一般会計 7,160 億円	特別会計 3,461 億円	企業会計 1,379 億円	全合計 1兆2,000 億円
------------------	------------------	------------------	-------------------

主な新規・重点事業 (岩槻区関連を中心に抜粋)

- 地下鉄 7 号線の延伸及び浦和美園～岩槻地域のまちづくりの推進 13 億 7,140 万
- 岩槻駅自由通路大型広告フラッグ掲出事業・岩槻駅東口駅前イルミネーション装飾事業 1,000 万
- 流域治水対策としての貯留施設等整備の推進 (東徳力調節池含む) 3 億 730 万
- 東岩槻第 3 雨水幹線整備事業 2,000 万
- 5 歳児健康診査の実施 5,590 万
- 中学校における 35 人学級の推進 1 億 1,920 万
- 市民アプリとの連携による学校集金サービスの導入拡大 4,000 万

